

# チャペル週報

No.11

2019.6.24 ~ 6.28

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。  
どんなことにも感謝しなさい。  
(テサロニケの信徒への手紙一 5章 16-18a)



ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

関西学院宗教センター

---

☆ チャペル・スケジュール ☆

---

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

---

6月24日(月) 神 説教演習A 小林 希恵(神学研究科M1)  
経 経済と人間⑨ 上村 敏之(経済学部教授)  
人 音楽チャペル ハンドベルクワイア  
理 竹内 富久恵(神戸愛生伝道所/北須磨教会牧師)  
聖和 聖書物語「小さな、小さな王さま」

---

6月25日(火) 神 川原田 玲子(日本基督教団教師)  
文 永田 雄次郎(関西学院大学名誉教授)  
社 音楽チャペル バロックアンサンブル  
法 音楽チャペル 聖歌隊  
経 音楽チャペル ゴスペルクワイア"P.O.V."  
商 福島 旭(中学部宗教主事)  
国 学生活動報告(2) 献血実行委員会  
理 上内 鏡子(日本基督教団神戸イエス団教会牧師)  
総 関西学院 Sandian Brass  
教 献血実行委員会

---

6月26日(水) 神 橋本 祐樹(神学部助教)  
社 よりよい社会とは② 岡田 弥生(社会学部教授)  
法 音楽チャペル バロックアンサンブル  
商 枝川 豊(高中部長)  
人 嶺重 淑(宗教主事)  
理 井上 智(宗教センター宗教主事)  
総 村瀬 義史(宗教主事)  
教 梶原 直美(宗教主事)

---

6月27日(木) 神 Christian Triebel(神学部助教)  
文 桐藤 薫(文学部非常勤講師)  
社 音楽チャペル 聖歌隊  
法 ヒューマン・サービス支援室  
経 世界難民の日(6/20)を迎えて 舟木 譲(宗教主事)  
商 吉川 晃史(商学部准教授)  
国 梨花女子大アジア教育奉仕会  
総 宗前 清貞(総合政策学部准教授)  
聖和 大北 理津子(聖和短期大学専任講師)

---

6月28日(金) 院 加納 和寛(神学部准教授)  
神 井上 智(神学部助教)  
文 Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事)  
経 経済学と聖書⑦ 井口 泰(経済学部教授)  
人 石川 久展(人間福祉学部教授)  
理 河西 秀哉(名古屋大学大学院人文学研究科准教授)

---

◇ランパス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40 ランパス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)  
6月28日(金) 学院史編纂室のために 田中 敦(学院史編纂室長)

---

# はだしへの欲求

田村 和彦

夏までもう一息というこの季節になると、靴も靴下も脱いで、いつもはだしで過ごしたくなる。できれば年中はだしでいたい。それも家の中だけではなく、戸外での散歩もジョギングも、はだしでできたらどんなに自由に気持ちがいいだろう。

「はだし」はもともと肌足（はだ・あし）で、裸足と書くのは当て字のようだ。直立して二足歩行を始めた人間にとって、足裏の皮膚はじかに地面に触れることでその凹凸や温度や湿り気を感じ取るとともに、身体のバランスを保つ鋭敏な感覚器官だったはずだ。履物はその皮膚を覆うことで足裏の感覚を大きく損なってしまった。それどころか、はだしは近代的な生活習慣が定着するに及んで、「非文明的」で「未開かつ野蛮な」風習として貶められるようにさえなった。ほとんどの人間が一年中はだしで過ごしていた日本でも、明治時代の東京では衛生上、風紀上の理由から「はだし禁止令」が出されている。文明化とは、靴をはじめとする履物で足裏を含めた足全体をがんにがらめに封じこむ過程でもあった。

したがって、はだしへの欲求は文明化によって失われた原初の「足裏感覚」を取り戻そうという試みでもある。様々な健康増進法ではだしが推奨されるのもそのため、たとえばドイツの「クナイプ療法」という自然療法では、素足のまま芝生の広場や水辺をひたすら歩くことが奨励される。近年、日本でも幼児の運動感覚を鍛えるために「はだし保育」を実践する保育園や幼稚園が増えているらしい。

一方、はだしには宗教的な意味、神聖な意味もある。仏教やイスラム教を始め、多くの宗教では神の前での祈りの際には靴を脱ぐのが当たり前だ。キリスト教でも、イエスが弟子たちの足を洗った事蹟にちなみ、カトリックのいくつかの宗派では聖職者が信徒の足を洗う洗足式が残されている。はだしでの生活を戒律に定めた修道会もある。はだしでいることは、神のしもべである人間が懺悔や恭順を示すばかりでなく、無所有と非暴力と無垢、おそらくはまた奉仕を表現する神聖な身振りなのだ。

ぼくのはだし好きはもっぱらものぐさと、「キユウ靴な」拘束を嫌う性向による。とはいえ、同士がいることは心強い。今日はひとつ、中芝で子供たちにまじってはだしで駆けまわってみようか。

(国際学部教授)

## ●夏の献血週間(西宮上ヶ原キャンパス)のお知らせ

宗教総部では、夏の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間：6月24日(月)～28日(金)

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

主 催：宗教総部献血実行委員会

## ●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプロースタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。【どなたでもご自由にご参加ください。】

(17:50～18:20 1405教室)

6月主題：「ペンテコステに起きたこと」

6月27日(木) 嶺重 淑(大学宗教主事)

7月主題：「聖書は人生をどう見ているか」

7月4日(木) 山本 俊正(宗教総主事)

7月11日(木) 井上 智(宗教センター宗教主事)

7月18日(木) Christian Morimoto Hermansen(宣教師)

## ●西宮北口キャンパスチャペル

阪急西宮北口駅隣接の「関西学院大学西宮北口キャンパス」では、月一回、金曜日にチャペルアワーを実施しています。どなたでもご自由にご参加ください。(10:35～11:05)

7月5日(金) 山本 俊正(宗教総主事)

関西学院大学西宮北口キャンパス

(阪急西宮ガーデンズゲート館8階;阪急西宮北口駅東改札すぐ)

## ●オルガン音楽の泉 2019 Spring semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひとつ、どなたでもご自由にお楽しみください。

第33回 7月10日(水) 坂倉 朗子(本学オルガン講師)

いずれも12:50～13:20[開場12:40予定]

ところ：関西学院中央講堂(125周年記念講堂)

主 催：宗教センター

## ●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝のご案内

授業期間中の第二・第四日曜日(原則)に、教職員と学生有志による礼拝が行われます。

どなたでも(クリスチャンでなくても)参加できますのでどうぞお越しください。

7月14日(日) 10:00～11:00

関西学院会館ベーツチャペル

### ◆CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

### ◆使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

### ◆盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。